

小学校社会科教科書の語彙調査

—社会科共通語彙の特徴を探る—

A Survey of Vocabulary in Elementary School Social Studies Textbooks:
Exploring the Characteristics of the Common Vocabulary of Social Studies

山本 裕子+・川村 よし子++・鷺見 幸美+++

YAMAMOTO Hiroko・KAWAMURA Yoshiko・SUMI Yukimi

愛知淑徳大学+・元東京国際大学++・名古屋大学+++

Aichi Shukutoku University+・Formerly at Tokyo International University++・Nagoya University+++
hiroko@asu.aasa.ac.jp

Abstract: The authors have been conducting research on the vocabulary used in elementary school textbooks with the goal of providing a Japanese language support environment for children. In this presentation, we report the results of our survey and analysis of social studies textbooks, focusing especially on vocabulary that is common to all grades. The total number of words was 133,185, and the number of different words was 8,321. The number of words increased as the school year progressed, with the number of words in the 6th grade being five times that of the 1st grade. The common words used in textbooks for all grades were mostly for learning, such as "gakushu," "yoosu," "tashikameru," "matomeru," and "hanashiau," while words specific to social studies, such as "machi-zukuri," "suii," "haku-chizu" and "sakan," were used more in grades 3 to 6.

キーワード: 小学校社会科教科書、語彙、全学年共通語、社会科共通語

1. はじめに

筆者らは、小学校の教科書で用いられている語彙を調査し、各教科、各学年でどのような語彙が用いられているかについてその特徴を明らかにして、それをもとに外国人児童のための日本語支援環境を提供することを目標とした研究を進めている。本発表では、社会科の教科書を対象に、特に全学年共通の語彙に着目して、調査、分析した結果を報告する。

2. 先行研究と研究課題

これまでに教科書語彙を取り上げた研究には、国語科の教科書の語彙（全学年 37 冊）を詳細に調査、分析した田中（2020）がある。田中（2020）は国語科教科書 37 冊の掲載語の分析に基づいて教科書の語彙シラバスを分析、データベース化して公開している。これは、学習支援に大きく役立つものである。また、河内（2020）は他の教科の語彙から国語科で指導すべきだと考えられる語彙を選定することを目的に、社会科、理科、算数の教科書を分析している。教科間で共通する語や教科ごとに特有の語を抽出しており、こちらも示唆に富むものであるが、名詞とサ変名詞のみが分析の対象となっており、語彙全体を対象としているわけではない。また、学年による相違は検討されていない。

そこで、本研究では社会科を対象に、名詞以外の品詞も含め、1 年～6 年までの教科書を対象に、学年の違いも踏まえて分析することとし

た。これにより、社会科の教科書語彙の特徴をより網羅的に把握することが可能である。また、まず社会科の教科書を対象に分析を行い、分析手法を確立することで、他の教科書語彙を調査分析する際に応用可能であると考えた。

本研究では以下の 2 点を研究課題とする。

- 課題 1：どのくらいの異なり語数（品詞別）があり、全体の特徴はどのようなものか。
課題 2：全学年に共通して用いられる語はどのような特徴をもつか。

3. 研究方法

3.1 調査対象

愛知県尾張地区で使用されている（生活科を含む）社会科の教科書、1 年生～6 年生までの計 7 冊（6 年は 2 種類）の本文の部分（目次・索引等を除く）を調査対象とした。

3.2 調査方法

教科書をテキストデータにして、形態素解析（MeCab-Unidic）にかけて「語」に切り分け、誤解析を修正したうえで、学年ごとのリストを作成した。その際、小学校教科書では、低学年では漢字で書かれず、教科書の表記からは判断できないため、筆者らが意味の重なりと異なりを判断して見出し語を統合した。たとえば、「とる」は「取る・採る・摂る」は統合し「撮る」は別語にした。なお、原則として短単位を「語」とみなしたが、複合語を一単位とみなした場合もある。これについては稿を改めて述べたい。

4. 結果

4.1 課題1：全体の異なり語数

全体の延べ語数（総頻度）は 133,185 語で、異なり語数は 8,321 語であった。1 年生 1,028 語、2 年生 1,184 語と学年進行に伴って語数も増え、6 年生では 5,207 語である。本研究では、名詞、動詞、い形容詞、な形容詞、副詞、連体詞、接辞、接続詞、感動詞、代名詞をカウントした。どの学年も名詞が 60%~79%と多数を占め、次に動詞が 12%~26%と続く。また 1 回しか用いられない語が 2,788 語で全体の 33.5%を占める。

4.2 課題2：全学年に共通して用いられる語とその特徴

6 学年全てで用いられている語（以下「全学年共通語」とする）は 245 語であった。そのうち名詞が 107 語（43.7%）、動詞が 76 語（31.0%）、形容詞が 12 語（4.9%）であった。また、全学年共通語の延べ語数は、51,793 語であった。したがって、全学年共通語が異なり語数全体に占める割合は 2.9%に過ぎないが、延べ語数に占める割合は 38.9%になる。全学年共通語は繰り返し用いられる頻度の高い語と言える。

次に、全学年共通語 245 語のうち、含まれる語の多い品詞の語の難易度レベルを、リーディングチュウ太 (<https://chuta.cegloc.tsukuba.ac.jp>) を用いて調べたところ、表 1 に示したように N4、N5 といった日本語教育において「初級」に相当する語が 78.5%を占めていた。どのような語が共通語であるかを見ると、名詞には「学習・様子・工夫・活動・確認・整理・発表・流れ・全体・方法・互い・順」、動詞にも「確かめる・言う・考える・思う・書く・ふりかえる・知る・まとめる・聞く・話し合う」といった学習するための語が多く含まれていた。これらは社会科に固有ではなく、他教科においても共通して用いられる語である可能性がある。

表 1 全学年共通語（名詞・動詞・形容詞）のレベル

	名詞 107 語	動詞 76 語	形容詞 12 語
級外	1	1	0
N1	2	1	0
N2N3	22	20	1
N4	24	21	0
N5	58	33	11

5. 3 年生から 6 年生までの共通語

社会は、1、2 年生は「生活科」であり、社会科と理科を合わせた内容になっている。そのため、当然のことながら、低学年の語彙には「（種を）まく」や「（実が）くっつく」のような理科の語彙が見られる。そのことが上記共通語の特徴に影響を及ぼしている可能性がある。そこ

で、3 年生から 6 年生の社会科だけの共通語（以下「社会科共通語」）を見ることにした。

社会科共通語は異なり語数 347 語（全体に対して 4.2%）で、延べ語数は 21,624 語（全体に対して 16.2%）であった。4.2 で述べた全学年共通語に比べ、種類は多いが頻度はかなり低く、繰り返し用いられるものではないことがわかる。

社会科共通語のうち名詞は 250 語（72.0%）だが、動詞は 53 語（15.3%）、形容詞・な形容詞は各 5 語（各 1.4%）と全学年共通語に比べ少なかった。表 2 に社会科共通語の高頻度語を、表 3 に品詞ごとにレベル判定した結果を示す。表 1 と比べると中級レベル以上の語が多いことがわかる。また、社会科共通語には、多くの地名に加えて「平成・令和・震災・支援」のような時事的な用語や「町作り・移り変わり・白地図・産業・盛ん」のような社会科の学習に固有と思われる語が含まれており、全学年共通語に比べ、社会科らしい特徴もみられる。

表 2 社会科共通語高頻度語

語	頻度	語	頻度	語	頻度
日本	1,057	国	331	さまざま	221
人々	562	生産	304	土地	217
工場	457	自動	274	協力	199
地域	457	文化	263	中国	187
問題	412	多く	260	時代	182
行う	348	取り組み	225	主な	174

表 3 社会科共通語のレベル

	名詞 250 語	動詞 53 語	形容詞・な形容詞 各 5 語
級外	42 (地名 15)	5	1
N1	18	4	1
N2N3	104	28	2
N4	46	13	2
N5	40	3	4

6. おわりに

今回の分析によって、全学年の社会科教科書の語彙について特徴の概要をつかむことができたが、今後さらに学年による語彙や使い方の相違など詳しい分析をしていく予定である。

付記

本研究は科学研究費基盤研究 (C) 21K00635 の助成を受けて行われたものである。

引用文献

- 河内昭浩 (2020) 「小学校教科書の語彙調査—他教科に資する国語科語彙指導に向けて—」 「第 139 回 2020 年秋期大会 (オンライン) 研究発表要旨集」 pp.203-206. 全国大学国語教育学会.
- 田中佑輔 (2020) 「COSMOS—帰国・外国人児童のための JSL 国語教科書語彙シラバスデータベース—」 『計量国語学』 32-5, pp.277-287. 計量国語学会.